

センター通信は、医大学内の全教員と希望者の皆さんに配信しております。

センター通信 Vol. 44

▼ 目次 ▲

1. 9月学内締切分 民間財団等助成金 公募案内
2. 9月学内締切分 国費（科研費以外）助成金 公募案内

1. 9月学内締切分 民間財団等助成金 公募案内

■□■ （財）内藤記念科学振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#naitou_syoei_2010_9

第42回内藤記念海外学者招へい助成金

【趣旨】

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う外国の研究者を招へいする際の費用を補助する

【招へい時期】

後期：2011年7月1日～2011年12月31日

【助成金額】

20万円～80万円（エリアによって異なる）

【採択件数】

前期・後期各10件以内

【応募資格】

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・意欲的に取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者を招へいする際の当該学術集会組織委員長

【学内×切】

後期 平成22年9月10日

【推薦者名】

学長または学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【備考】

学内選考があります（1推薦者につき、前期・後期各々1件）

【添付書類】

- ・組織委員長及び招へい学者が明記されている当該学術集会プログラム・パンフレット等
- ・宛名シール

■□■ （財）内藤記念科学振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#naitou_ryugaku_2010_9

第27回内藤記念海外研究留学助成金

【趣旨】

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行うために、若手研究者が海外の大学等研究機関に長期間留学する渡航費、留学に伴う経費ならびに研究費を補助する

【助成金額】

100万円

【採択件数】

15件以内

【応募資格】

- ・博士号を持つか、出発日までに取得見込みの研究者
- ・1976年1月1日以降に出生の者（満34歳以下）
- ・2011年1月1日～2012年3月31日の間に出発し、1年以上留学する者

【学内×切】

平成 22 年 9 月 10 日

【推薦者名】

学長または学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【備 考】

学内選考があります（1 推薦者につき 1 件）

【添付書類】

- ・ 受入先承諾書
- ・ 受入先承諾書の和訳
- ・ 宛名シール

■□■ （財）内藤記念科学振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#naitou_fellow_2010_9

第 5 回内藤記念フェローシップ（サバティカルリーブ）

【趣旨】

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究において、高い一定レベルの研究実績をあげたシニア研究者が、国内外の大学等研究機関で一定期間研究を行うことにより、以後の研究の飛躍的な発展を期待して、渡航費、経費ならびに研究費を補助する

【助成金額】

滞在費（経費、研究費）

海外：50 万円/月、国内：25 万円/月

海外渡航費

10 万円～40 万円（滞在先に応じて支給）

【採択件数】

4 件以内

【応募資格】

- ・ 自然科学の基礎的研究に独創的・意欲的に取り組んでいる高い一定レベルの研究実績をあげたシニア研究者
- ・ 1956 年 4 月 1 日～1970 年 3 月 31 日出生の者（40 歳以上 55 歳以下）
- ・ 6 ヶ月以内、滞在先の研究機関で研究に従事する

・ 2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日に出発する者

【学内×切】

平成 22 年 9 月 10 日

【推薦者名】

学長または学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【備 考】

学内選考があります（1 推薦者につき 1 件）

【添付書類】

- ・ 受入先承諾書
- ・ 受入先承諾書の和訳
- ・ 宛名シール

■□■ （財）北海道心臓協会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#shinzo_kenkyuchosa_2010_9

研究開発調査助成

【助成対象】

循環器疾患の予防および治療（リハビリテーションを含む）のための医療システムに関する全国レベルの学会、研究会およびセミナーなどへの、原則として、筆頭発表者としての参加費と旅費の範囲

【助成金額】

5 万円/件 12 人分

※上半期（4 月～9 月）6 件、下半期（10 月～翌年 3 月）6 件をめぐりに選考

【応募資格】

北海道に在住する 40 歳以下の医療関係者（医学研究者、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査および放射線技師、作業・理学療法士等）

【学内×切】

平成 22 年 9 月 9 日

【推薦者名】

学長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【備 考】

学内選考があります（同一機関からの応募は3名以内）

■□■ （財）コニカミノルタ科学技術振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#konica_2010_9

平成22年度コニカミノルタ画像科学奨励賞

【重点研究課題】

- ①光と画像に関する材料及びデバイスの研究
- ②光と画像に関するシステム及びソフトウェアの研究
- ③光と画像に関するその他の先端的な研究

【奨励賞】

4件程度 副賞1件100万円

【進歩賞】

4件程度 副賞1件50万円

【応募資格】

- ・画像科学に関する研究者で、個人またはグループ
- ・応募締切日9月30日時点で40才以下（グループは代表者）

【学内×切】

平成22年9月16日

【応募手続】

エントリー入力と申請書提出の両方が必要です。

- ①団体ホームページより「助成エントリー」を申し込んでください。
- ②団体ホームページより「申請書」をダウンロードし、センターへ2部ご提出ください。

※ホッチキス留め不可。片面印刷、クリップ留めでお願いいたします。

■□■ （財）神澤医学研究振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#kanzawa_kenkyu_2010_9

平成22年度（第14回）研究助成

【研究対象領域】

①リプロダクティブエイジの女性に発現する各種疾患の成因、予防、診断、治療等に関する研究

②加齢と共に女性に発現する各種疾患の成因、予防、診断、治療等に関する研究

【助成金額】

1件につき100万円（総額1,000万円）

【応募資格】

- ・基礎又は臨床研究を国内において行う若手研究者
- ・平成22年4月1日現在満41歳未満、すなわち誕生日が昭和44年4月2日以降の者

【学内×切】

平成22年9月9日

【推薦者名】

学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

※ただし産婦人科学講座所属の場合は教授の推薦が必要です。推薦者欄をすべて記入し押印をいただいてからご提出をお願いします。

【備考】

学内選考があります（1推薦者から1件）

※産婦人科学講座で2件以上の応募希望があった場合は、講座内で選考の上、1件をご提出ください

【提出書類】

- ・申請書：2部
- ・代表的論文1編の別刷；2部

■□■ （財）神澤医学研究振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#kanzawa_ryugaku_2010_9

平成22年度（第13回）海外留学助成

【研究対象領域】

①リプロダクティブエイジの女性に発現する各種疾患の成因、予防、診断、治療等に関する研究

②加齢と共に女性に発現する各種疾患の成因、予防、診断、治療等に関する研究

【助成金額】

1 件につき 50 万円 （総額 200 万円）

【応募資格】

- ・基礎又は臨床研究のため、平成 23 年 1 月 1 日より平成 23 年 12 月 31 日の間に、期間 1 年以上の海外留学を行う若手研究者
- ・平成 22 年 4 月 1 日現在満 41 歳未満、すなわち誕生日が昭和 44 年 4 月 2 日以降の者

【学内〆切】

平成 22 年 9 月 9 日

【推薦者名】

学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。
※ただし産婦人科学講座所属の場合は教授の推薦が必要です。推薦者欄をすべて記入し押印をいただいてからご提出をお願いします。

【備 考】

学内選考があります（1 推薦者から 1 件）
※産婦人科学講座で 2 件以上の応募希望があった場合は、講座内で選考の上、1 件をご提出ください

【提出書類】

- ・申請書：2 部
- ・留学受入機関の承諾書等の写し：2 部
- ・代表的論文 1 編の別刷：2 部

■□■ （財）ノバルティス科学振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#novartis_syukai_2010_9

平成 23 年度（2011 年度）研究集会助成

【趣旨】

生物・生命科学およびそれに関連する化学の領域において、わが国で開催される研究集会に対し、運営経費の一部を助成する

【開催期間】

平成 23 年 4 月以降、平成 24 年 3 月末までに開催される研究集会であること

【助成金額】

1 件 50 万円を限度とし、5 件程度

【選考基準】

- ・国外からの参加者を含み、国際性豊かで、学術的意義の大きい研究集会であること。
- ・1,000 名を越す大規模な研究集会は、原則として助成の対象としない。ただし、関連して国内の学会および機関が主催する集会において行われるシンポジウム、招待講演、セミナー等は助成対象とする。
- ・2 国間の研究集会は原則として助成の対象としない。
- ・他の財源から多額の収入が得られると予想される研究集会よりも、当財団からの助成が有効となるような研究集会を優先する。

【学内〆切】

平成 22 年 9 月 14 日

【申請件数】

1 申請者から 1 件に限る。また、1 集会につき 1 申請とする。

【提出書類】

- ①申請書：2 部
- ②申請書の WORD ファイルを保存した CD・DVD またはフロッピーディスク：1 部
- ③集会の構成を示したサーキュラー等の文書（該当者のみ）：2 部

■□■ （株）リバナエス ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#libanesu_d21_2010_9

第 4 回リバナエス研究費 ディスカヴァー・トゥエンティワン賞

【対象分野】

自然科学の全分野

【募集対象者】

研究終了後に申請テーマの周辺内容をまとめて DIS+COVER サイエンスシリーズとして書籍化にご協力いただける方

※申請書では想定される書籍の内容についても言及してください

【助成内容】

DIS+COVER サイエンスシリーズ書籍および研究費上限 50 万円

【採択件数】

若干名

【応募資格】

- ・ 科学技術の発展と地球貢献の実現に資する若手研究者
- ・ 40 歳以下で、修士課程以上の研究従事者

【学内×切】

機関直接応募 平成 22 年 9 月 30 日（24 時メール必着）

【申請方法】

- ① 団体ホームページから申請登録を行ってください。
- ② 申請書を作成し、申請締切期間までに rs@leaveanest.com へ申請書データを添付してお送りください。
- ③ 申請書を印刷したもの 1 部をセンターへご提出ください。

■□■ （財）万有生命科学振興国際交流財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#banyu_junkanki_2010_9

平成 23 年度 海外留学助成＜循環器領域＞

【対象分野】

循環器領域

【助成期間】

1 年間（平成 23 年 4 月以降～平成 24 年 3 月末までに留学を開始できること）

【募集人数】

5 名程度

【助成金額】

400 万円/名

（渡航費、税金、保険料等は個人負担とする）

【応募資格】

下記の条件を満たすこと

- ① 一定の研究業績を有する有能な研究者
- ② 日本在住の研究者であり、留学後は日本に帰国し日本の学術振興に寄与する者

③ 日本循環器学会の会員であり、日本循環器学会の年次学術集会において発表実績があること

④ 平成 22 年 4 月 1 日現在、年齢が満 40 歳未満の者

⑤ 外国において 1 年以上の研究留学が可能なこと

⑥ 平成 23 年 3 月 31 日時点まで留学経験がないこと

⑦ 留学先は大学・教育機関等の非営利研究施設であり、受入期間及び研究内容を含めて留学先施設より承諾を得ていること

⑧ 留学に際して他の奨学金を重複して受けていないこと

【学内×切】

平成 22 年 9 月 1 日

【推薦状欄】

すべて記入し、担当教授の押印をいただいてからご提出ください。

【承諾書欄】

学部長の承諾が必要です。「施設名」～「氏名・捺印」欄は空欄のままご提出ください。

【応募方法】

財団 Web 応募ページからの応募と併せて、紙媒体での応募書類の提出が必要です。

【応募書類】

① 応募用紙（A～H）

② 留学先施設の受入承諾を証明するもの（書式は問わない）

■□■ （財）万有生命科学振興国際交流財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#banyu_ekigaku_2010_9

平成 23 年度 海外留学助成＜疫学・生物統計学領域＞

【対象分野】

臨床疫学・薬剤疫学・生物統計学領域

【助成期間】

原則として 2 年間（但し 1 年間でも可）

【募集人数】

3 名以内

【助成金額】

300 万円/名/年

(渡航費、税金、保険料等は個人負担とする)

【応募資格】

下記の条件を満たすこと

- ①一定の研究業績を有する有能な研究者
- ②日本在住であり、留学後は日本に帰国し日本の学術振興に寄与する者
- ③平成 22 年 4 月 1 日現在で、年齢が満 40 歳未満の者
- ④外国において 1 年以上の研究留学が可能なこと
- ⑤平成 23 年 3 月 31 日時点まで留学経験がないこと
- ⑥留学先は大学、教育機関等の非営利研究施設であり、受入期間及び研究内容を含めて留学先施設より承諾を得ていること
- ⑦留学に際して他の奨学金を重複して受けていないこと

【学内×切】

平成 22 年 9 月 1 日

【推薦状欄】

すべて記入し、担当教授の押印をいただいてからご提出ください。

【承諾書欄】

学部長の承諾が必要です。「施設名」～「氏名・捺印」欄は空欄のままご提出ください。

【応募方法】

財団 Web 応募ページからの応募と併せて、紙媒体での応募書類の提出が必要です。

【応募書類】

- ①応募用紙 (A～H)
- ②留学先施設の受入承諾を証明するもの (書式は問わない)

■□■ (財) 万有生命科学振興国際交流財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#banyu_kokyuki_2010_9

平成 23 年度 海外留学助成<呼吸器・アレルギー領域 (腫瘍性疾患を除く)>

【対象分野】

呼吸器・アレルギー領域 (腫瘍性疾患を除く)

【助成期間】

原則として 2 年間 (但し 1 年間でも可)

(平成 23 年 4 月以降～平成 24 年 3 月末までに留学を開始できること)

【募集人数】

3 名程度

【助成金額】

300 万円/名/年

(渡航費、税金、保険料等は個人負担とする)

【応募資格】

下記の条件を満たすこと

- ①一定の研究業績を有する有能な研究者
- ②日本在住の研究者であり、留学後は日本に帰国し日本の学術振興に寄与する者
- ③日本循環器学会または日本アレルギー学会の会員であり、学会の年次学術集会において発表実績があること
- ④平成 22 年 4 月 1 日現在、年齢が満 40 歳未満の者
- ⑤外国において 1 年以上の研究留学が可能なこと
- ⑥平成 23 年 3 月 31 日時点まで留学経験がないこと
- ⑦留学先は大学・教育機関等の非営利研究施設であり、受入期間及び研究内容を含めて留学先施設より承諾を得ていること
- ⑧留学に際して他の奨学金を重複して受けていないこと

【学内×切】

平成 22 年 9 月 1 日

【推薦状欄】

すべて記入し、担当教授の押印をいただいてからご提出ください。

【応募方法】

財団 Web 応募ページからの応募と併せて、紙媒体での応募書類の提出が必要です。

【応募書類】

- ①応募用紙 (A～H)
- ②留学先施設の受入承諾を証明するもの (書式は問わない)

■□■ (財) 中富健康科学振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#nakatomi_kenkyu_2010_9

平成 22 年度 (第 23 回) 研究助成金

【対象領域】

- (1) 健康の維持・増進に関する医学的・薬学的研究
- (2) 運動を主体とする健康増進に関する科学の研究

【対象課題】

- ①筋骨格系及び結合織の機能保持に関する研究
- ②皮膚の健康と老化防止に関する基礎的研究
- ③機能低下、個人差等による薬物等の体内動態に関する研究
- ④疼痛治療に関する研究
- ⑤運動を中心とした健康増進に関する研究

【助成金額】

1 件につき 100 万円 (総額 5,000 万円)

【応募資格】

申請日時点で 45 歳未満の方

【学内×切】

平成 22 年 9 月 14 日

【推薦者名】

学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【提出書類】

申請書 (指定枚数 5 枚以内)

■□■ (財) 中富健康科学振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#nakatomi_ryugaku_2010_9

平成 22 年度 (第 23 回) 留学助成金

【対象領域】

- (1) 健康の維持・増進に関する医学的・薬学的研究
- (2) 運動を主体とする健康増進に関する科学の研究

【助成対象】

期間 1 年以上の国内及び海外留学

【対象期間】

平成 23 年 4 月 1 日より平成 24 年 3 月 31 日の間に開始する

【助成金額】

1 件につき 50 万円 (総額 400 万円)

【応募資格】

申請日時点で 35 歳未満の方

【学内×切】

申請日時点で 35 歳未満の方

【推薦者名】

学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【提出書類】

- ・申請書 (指定枚数 2 枚以内)
 - ・受入機関の承諾書等、証明書の写し
-

■□■ (財) 中富健康科学振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#nakatomi_kokusai_2010_9

平成 22 年度 (第 23 回) 国際交流助成金

【対象領域】

- (1) 健康の維持・増進に関する医学的・薬学的研究
- (2) 運動を主体とする健康増進に関する科学の研究

【助成対象】

国際的に高い評価を得ている外国の研究員の招聘並びに、わが国の学者・研究者の海外派遣による研究交流、もしくは研究指導、研究発表等

【対象期間】

平成 23 年 4 月 1 日以降、平成 24 年 3 月 31 日の間に開始する

【助成金額】

招聘助成…1 件につき 100 万円

派遣助成金…1 件につき 100 万円

(総額 200 万円)

【応募資格】

年齢は問わない

【学内×切】

平成 22 年 9 月 14 日

【推薦者名】

学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください

【提出書類】

- ・ 申請書 (指定枚数 2 枚以内)
- ・ 受入機関の承諾書等、証明書の写し

■□■ (財) 花王芸術・科学財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#kao_josei_2010_9

第 14 回 (平成 23 年度) 科学技術研究助成

【趣旨】

若い研究者の、未来を拓く独創的、先導的な研究に対し助成する

【対象研究分野】

<化学・物理学分野>

表面分析、表面改質、コロイド、(超)微粒子、クラスター、乳化、分散、吸着、触媒、膜、界面活性剤、ベシクル、リポソーム、液晶、ゲルなどの固体、液体の表面に係わる研究

<医学・生物学分野>

生物個体が外界や自らのもつ内腔(腸管、気管など)に接する部位や、脈管系(血管、リンパ管など)を形成する表皮、上皮、内皮の各細胞およびその付属器官や関連する生理機能を対象とする、個体、臓器、細胞または分子レベルの医学・生物学

【助成金額】

1 件 100 万円 (総額 1,000 万円)

【助成件数】

<化学・物理学分野> 5 件

<医学・生物学分野> 5 件

【応募資格】

- ・ 平成 23 年 4 月 1 日現在 35 歳以下の研究者
- ・ 研究グループの一員である場合は主体的に研究している研究者に限る

【学内×切】

平成 22 年 9 月 9 日

【推薦者名】

学部長の承認が必要です。承認者欄は空欄のままご提出ください。

【備考】

学内選考があります (1 学部 1 件)

【添付書類】

代表論文 1~2 報の別刷り : 各 6 部

■□■ (財) 花王芸術・科学財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#kao_syorei_2010_9

平成 22 年度 (第 13 回) 花王研究奨励賞

【目的】

我が国における基礎・基盤研究の振興と若い研究者の育成に貢献する

【対象分野】

<化学・物理学分野>

表面分析、表面改質、コロイド、(超)微粒子、クラスター、乳化、分散、吸着、触媒、膜、界面活性剤、ベシクル、リポソーム、液晶、ゲルなどの固体、液体の表面に係わる研究

<医学・生物学分野>

生物個体が外界や自らのもつ内腔(腸管、気管など)に接する部位や、脈管系(血管、リンパ管など)を形成する表皮、上皮、内皮の各細胞およびその付属器官や関連する生理機能を対象とする、個体、臓器、細胞または分子レベルの医学・生物学

【内容】

賞状、正賞(記念品)、副賞(100 万円)

【件数】

<化学・物理学分野>1件

<医学・生物学分野>1件

【応募資格】

本人の主体的な研究によって独自の成果を挙げた平成22年9月30日現在40歳以下の日本在住の研究者

【学内〳切】

平成22年9月14日

【推薦者名】

学部長の推薦が必要です。推薦書は推薦理由を記載し、推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【添付書類】

代表論文3篇の別刷り：各6部

■□■ (財)日本ワックスマン財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#waksman_kenkyu_2010_9

第55回(平成23年度分)学術研究助成金

【趣旨】

微生物学および医学に関する学術研究を援助、奨励し、わが国の学術、文化の向上発展に寄与することを目的とする

【対象分野】

微生物および医学に関する学術研究

【助成金額】

件数1件につき100万円(総枠600万円以内)

【応募資格】

わが国の在住者であり、微生物学および医学に関する学術研究を計画する者

【学内〳切】

平成22年9月9日

【推薦者名】

学長の推薦が必要です。推薦者欄は推薦状の記載にとどめ、氏名等は空欄のままご提出ください。

【備考】

学内選考があります(1施設1件)

■□■ (財)日本ワックスマン財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#waksman_ryugaku_2010_9

第55回(平成23年度分)留学費助成金

【趣旨】

微生物学および医学に関する研究のうち、重要と認められるものを遂行するために海外へ留学する者に支給する

【対象分野】

微生物学および医学

【助成金額】

1件につき100万円(総枠100万円以内)

【応募資格】

微生物学および医学に関する研究を行う者

【学内〳切】

平成22年9月9日

【推薦者名】

学長の推薦及び留学許可が必要です。推薦者欄は推薦状の記載にとどめ、氏名等は空欄のままご提出ください。また、留学許可書欄の申請者所属機関名と機関長職名氏名も空欄のままご提出ください。

【備考】

学内選考があります(1施設1件)

■□■ 旭硝子(株) ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#asahi_collabo_2010_9

2010年度旭硝子リサーチコラボレーション制度—公募型産学協同研究—

【対象研究課題】

- ①高強度高韌性の新規ガラス材料に関する研究
- ②ガラスの物性研究、あるいはガラスの新機能創出に向けた研究
- ③シリコンオングラスに関連した革新的コーティング技術の研究
- ④次世代電池関連材料および部材に関する研究
- ⑤新規ポリマー構造を有する分離膜、バリア膜に関する研究
- ⑥ナノ構造に起因した特性評価手法あるいは可視化技術の開発

【研究実施期間】

2011年2月初めに研究を開始し、2年間から3年間

【研究費用】

1件あたり年間2千万円以内、3年間で総額6千万円以内を目安とする
※原則ポスドク級の専従研究者1名の雇用をし、その人件費を含めること

【応募資格】

若手（概ね50歳以下）の研究者

【学内×切】

機関直接応募 平成22年9月30日

【応募方法】

電子メールで取得した応募書式に所定の事項を記入し、電子メールで団体宛に研究計画提案書を提出してください。また、団体に送信した応募書類を1部印刷してセンターにご提出ください。

■■□■ (社)農協共済総合研究所 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#ja_kotsujiko_2010_9

平成23年度 JA共済 交通事故医療研究助成

【目的】

救急医療及びリハビリ医療の進歩に寄与し、交通事故被害者の救命および社会復帰を促進する

【助成対象】

交通事故医療に関する臨床的研究

【助成期間】

平成23年4月1日から1年の間に行われる研究

【助成金額】

1件当たり100万円以内

【助成件数】

25件程度

【応募資格】

交通外傷に携わる研究者または研究機関

【学内×切】

平成22年9月14日

【推薦者名】

学長の承認が必要です。承認者欄は空欄のままご提出ください。

【備考】

申請書の記載は、パソコン入力により行ってください。

■■□■ (財)上月スポーツ・教育財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#kozuki_sports_2010_9

第8回(2010年度)スポーツ研究助成

【対象研究】

日本を代表する優秀な選手を育成するために、スポーツ医学、スポーツ科学の分野で取り組まれている研究

【助成期間】

2年間(2011年1月1日~2012年12月31日)

【助成件数】

10件程度

【助成金額】

総額700万円

【応募資格】

スポーツ医・科学やスポーツの振興について研究を行う機関(大学等)に所属する若手研究者

【学内×切】

平成22年9月14日

【推薦者名】

学長または学部長の推薦を希望する場合は、推薦書は推薦理由等の記載にとどめ、推薦者欄は空欄のままご提出ください。ご提出時にどちらの推薦を希望するかをお伝えください。

【備考】

※他の財団などから助成を受けた（受けている、申請している）類似の内容は対象となりません

【提出書類】

財団所定の申請書・推薦書

■□■ （財）日本ビフィズス菌センター ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#bifidus_syorei_2010_9

日本ビフィズス菌センター研究奨励賞

【目的】

腸内細菌学分野における研究・開発の推進

【対象分野】

腸内細菌学に関連する広い分野（腸管免疫学・プロバイオティクス・プレバイオティクス・感染防御学等）

【対象業績】

学術誌等に発表されたもの

【内容】

賞状・副賞（10万円）

【対象件数】

毎年2件程度

【応募資格】

・上記の対象分野において、学術上又は産業上将来の発展を期待し得る優秀な研究業績をあげた個人

・受賞年の4月1日において原則として満40歳以下

【学内〆切】

平成22年9月14日

【推薦者名】

学長・学部長の推薦を希望される場合には、推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【提出書類】

①推薦書（財団規定のもの）

②研究業績概要（1000字以内・A4：手書き不可）

③候補者の略歴（大学卒業、または最終学歴以降）

④該当する業績の論文別刷（3編以内）

⑤主な研究業績一覧（形式自由）

■□■ （財）放送文化基金 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#hoso_josei_2010_9

平成22年度 助成・援助

【趣旨】

放送文化の発展向上に寄与することを目的として、放送に密接に関連する調査・研究、事業に対する助成・援助を行う

【助成対象】

・放送技術に関する研究・開発

・放送に関する人文・社会科学的な調査・研究、および文化的な事業

【助成金額】

申込み限度額は、1件300万円（総額5,500万円）

【学内〆切】

平成22年9月14日

【備考】

平成23年度に実施されるプロジェクトが対象となります

■□■ （財）中谷電子計測技術振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#nakatani_josei_2010_9

第27回（平成22年度）技術開発助成研究

【対象研究課題】

生体に関する電子計測技術

【助成対象】

- ①開発研究…独創的な研究であって、実用化が期待できるものであるか、または、そのための基盤技術となるもの
- ②奨励研究…独創的で夢のある研究であって、将来の実用化に結びつくものであるか、または、そのための要素技術となるもの

【助成期間】

平成 23 年 4 月から 1 年間

【助成金額】

総額 1,800 万円

- ①200 万円/件
- ②100 万円/件

【応募資格】

- ・大学およびこれに準ずる研究機関に属する者
- ・②は、募集締切日に 35 歳以下であること

【学内×切】

平成 22 年 9 月 14 日

【推薦者名】

学長の承諾が必要です。承諾書の「所属機関長・職・氏名」欄は空欄のままご提出ください。

【提出書類】

財団所定の申請書・承諾書：各 2 部

【応募について】

応募には、書類の提出と併せて電子データの送付が必要です。財団へのメール送信はセンターから行いますので、申請書の電子データを、Adobe の PDF ファイルまたは Windows 版の Microsoft Word ファイルで、センター 藤原 (fuji421@sapmed.ac.jp) 宛に送信してください。

■□■ (財) 東京生化学研究会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#tokyo-seikagaku_kenkyu_2010_9

平成 22 年度 研究助成金・研究奨励金

【主旨】

薬物治療並びに新医薬品の創製に関する基礎的研究を助成し、医薬品の独創的研究を奨励する。

【研究種目】

- (A) 研究助成金 (研究期間 2 年)
- (B) 研究奨励金

【研究テーマ】

- ①新しいアプローチによる Structure-based Drug Design
- ②疾患のエピジェネティクス
- ③ストレスを起因とする疾患の治療アプローチ

【募集件数】

- (A) 上記 3 研究テーマにつき計 6 件以内
- (B) 上記 3 研究テーマにつき計 12 件以内

【贈呈額】

- (A) 1 件につき 400 万円
- (B) 1 件につき 150 万円

【応募資格】

- (A) 上記テーマに関する研究に従事し、既に独創的内容を有する研究を行い、注目すべき成果をあげつつある研究者
- (B) 上記テーマに関する研究に既に従事している、あるいはこれから従事する若い研究者 (応募時 40 歳未満)

【学内×切】

平成 22 年 9 月 14 日

【推薦者名】

(B) は担当教授の推薦が必要です。推薦欄をすべて記入し押印をいただいてから、ご提出をお願いします。

【備考】

申請は (A)、(B) を通じて 1 人 1 件としてください。

■□■ (財) 日本脳神経財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#nosinkei_2010_9

平成 22 年度 研究助成

【趣旨】

脳神経疾患の原因を追求し、その予防と治療体系の推進に貢献する臨床ならびに基礎的分野における重要かつ独創的な研究に対して助成を行う。

【助成金額】

1 研究あたり 50 万円 約 5 件

【応募資格】

- ・ 医学部および医科大学に所属する教・職員
- ・ 年齢 50 才未満の個人またはグループ

【学内×切】

平成 22 年 9 月 17 日

【推薦者名】

学長または医学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【応募件数】

同一講座から 2 名以上の応募希望があった場合は、講座内で選考の上、1 件をご提出ください。

【申込書】

黒インクか黒のボールペンで、明瞭に記入してください。(ワープロ可)

■□■ (財) 中島記念国際交流財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#nakajima_ryugaku_2010_9

平成 23 年度 (2011 年度) 日本人海外留学奨学生

【目的】

海外の大学院に留学する日本人 (学生) に対する奨学援助を通じて、今後の世界にとり必要性の高い分野において人材の育成を図る

【対象分野】

- ①情報科学
- ②生命科学

③経営科学

【留学先】

海外の大学 (又はこれに準ずる機関)

【採用予定数】

約 10 名

【奨学金の給付額】

- ①奨学金 : 月額 20 万円
- ②渡航費 : 往復支給
- ③支度金 : 20 万円
- ④授業料 : 留学当初の 2 年間に限り、年間 300 万円以内を支給する

【応募資格】

- ・ 日本に在住する平成 23 年 4 月 1 日現在 30 歳以下の者
- ・ 平成 23 年度中 (平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までに入学) に留学する
- ・ 海外の大学 (又はこれに準ずる機関) の修士号又は博士号を取得するために留学する者

※詳細は募集要項をご覧ください。

【学内×切】

平成 22 年 9 月 24 日

【推薦者名】

指導教官の推薦が必要です。推薦書はすべて記入し、押印をいただいてからご提出をお願いします。

【提出書類】

- ①申請書 (写真を添付・押印し、両面印刷したもの) : 正本 1 部・写本 4 部 (ただし生命科学分野は写本 5 部)
- ②推薦書 : 2 部
- ③成績証明書 (学部及び大学院) : 各 2 部
- ④返信用封筒 (80 円切手を貼り、住所・氏名を記入した長形 3 号) : 1 部
- ⑤住所・氏名を記入した官製葉書 (希望者のみ) : 1 部

■□■ (財) 中島記念国際交流財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#nakajima_kenkyu_josei_2010_9

平成 23 年度 (2011 年度) 日本人若手研究者研究助成金

【目的】

優れた日本人若手研究者に対して研究助成を行い、学術の振興に寄与する

【対象分野】

次に掲げる研究分野とし、原則として一人で行う研究であって、将来の発展が期待できる研究

①情報科学

②生命科学

【助成金額】

1 件あたり 500 万円以内 (総額 1 億円以内)

【応募資格】

- ・平成 23 年 4 月 1 日現在 37 歳以下の研究者
- ・主として日本学術振興会の特別研究員経験者

【学内×切】

平成 22 年 9 月 24 日

【提出書類】

- ①申請書 (両面印刷) : 正本 1 部、写本を情報科学分野 4 部・生命科学分野 5 部
- ②返信用封筒 (80 円切手を貼り、住所・氏名を記入した長形 3 号) : 1 部
- ③住所・氏名を記入した官製葉書 (希望者のみ) : 1 部

■□■ 女性健康科学研究会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_9.html#rohto_2010_9

第 2 回 (2010 年度) ロート女性健康科学研究助成テーマ

【趣旨】

専門領域を限定せず、あらゆる視点から女性の健康に影響を及ぼす原因の調査・研究、疾患予防ならびに治療法の体系化、それらの社会普及により健康・福祉の向上に寄与する

【対象課題】

女性の健康を対象とした疫学調査・疾病予防・治療・看護ならびに健康増進などの諸分野の研究を対象とし、領域を問わない

①臨床医学②伝統医学③社会医学④薬学一般⑤看護学⑥助産学⑦栄養学⑧理学療法⑨漢方など

【研究期間】

平成 23 年 6 月～平成 24 年 5 月

【助成金額】

50 万円 3 件・30 万円 3 件 (総額 240 万円)

【応募資格】

優れた研究や新たなアプローチを発掘するため、専門分野の垣根を越え、前項に掲げた研究に携わる日本在住の研究者・医療従事者・保健衛生などの活動者 (単独研究、共同研究の別は問わない)

【学内×切】

平成 22 年 9 月 14 日

【添付書類】

研究論文リストに記載した最たる代表論文 (1 編) : 2 部

2. 国費 (科研費以外) 助成金 公募案内

■□■ 独立行政法人日本学術振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi_2010_9.html#gaikokujin_oubeitanki_2010_9

平成 23 年度分 外国人特別研究員 (欧米短期) 第 1 回募集分

【趣旨】

欧米諸国の博士号取得前後の若手研究者に対して、1 ヶ月以上 12 ヶ月以内の期間内で、我が国お大学等において日本側受入研究者の指導のもとに共同して研究に従事する機会を提供する事業

【対象分野】

人文・社会科学及び自然科学の全分野

【来日時期】

- ①第1回募集分：平成23年4月～平成24年3月
- ②第2回募集分：平成23年4月～平成24年3月（11月学内締切に掲載予定）
- ③第3回募集分：平成23年6月～平成24年3月（平成23年1月学内締切に掲載予定）
- ④第4回募集分：平成23年8月～平成24年3月（平成23年3月学内締切に掲載予定）
- ⑤第5回募集分：平成23年9月～平成24年3月（平成23年4月学内締切に掲載予定）
- ⑥第6回募集分：平成23年12月～平成24年3月（平成23年7月学内締切に掲載予定）

【採用期間】

1ヶ月以上12ヶ月以内

【助成金額】

【支給経費】

渡航費・滞在費(学位を有する者:月額362,000円、学位を有しない者:月額200,000円)・その他

【採用予定数】

60名程度（第1～6回募集分）

【受入研究者の申請資格】

常勤の研究者（助教、助手を除く）又は常勤として位置づけられている研究者

【外国人特別研究員の要件】

- ・下記に掲げる欧米諸国（※）の国籍又は永住権を有する者
- ※欧米諸国…アメリカ合衆国・カナダ・フランス・ドイツ・スウェーデン・イギリス・イタリア・フィンランドその他欧州連合（EU）加盟国・スイス・ノルウェー・ロシア
- ・日本における研究開始時点で、国外の大学院で取得した博士の学位を有し、かつ、平成23年4月1日の時点で博士の学位取得後6年未満の者又は、国外の大学院博士課程（博士後期課程相当）に在籍し、2年以内に博士の学位取得見込みの者。

【学内〆切】

第1回募集分 平成22年9月21日

【応募方法】

- ・電子申請手続きと併せて必要書類の提出となります。
- ・電子申請手続きには日本学術振興会の国際交流事業用申請者ID/パスワードが必要となりますので、未取得の方はセンター藤原（内線2176）までご連絡下さい。学内締切日までに電子申請手続き (<http://www-shinsei.jps.go.jp/>) をお済ませ下さい。

【応募書類】

- ・外国人特別研究員（欧米短期）受入研究者申請書（様式1）
- ・外国人特別研究員（欧米短期）候補者調書（様式2）
- ・候補者の博士論文指導者等からの推薦書

※全てA5版両面印刷となります。

※提出書類は順番に1部ずつ重ねて左上をホチキスで留めて7セット用意して下さい。（正本1部・写し6部）

【その他の注意事項】

- ・過去に日本学術振興会外国人特別研究員事業に採用された外国人研究者については対象外となります。また、外国人特別研究員（欧米短期）事業での採用は1回限りとなります。
- ・同一人が、同時に本事業と外国人招へい研究者事業の候補者となることはできません。

■□■ 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 ■□■

<http://www.nips.ac.jp/jusnou/>

平成23年度日米科学技術協力事業「脳研究」分野
共同研究者派遣募集

【事業の概要】

平成23年度に米国で共同研究を実施し、派遣期間中の業績は勿論のこと、帰国後も相互にその成果を通じて協力関係が継続できるような優れた人材を募集する

【研究分野】

脳一般に関する以下の分野の研究

- ①細胞・分子
- ②発達・可塑性・修復
- ③行動・システム・認知
- ④疾病の神経生物学

【派遣期間】

原則として9ヶ月以内

※ただし、会計年度を超えない期間とする

【派遣経費】

交通費・滞在費

※自然科学研究機構で定める規程等による

【応募資格】

研究機関において研究に従事する若手研究者（概ね35歳以下）

【学内〆切】

平成22年9月1日

【応募の際の注意事項】

予算交付が確定されていない時期での募集であることを予めご了承下さい。

【派遣先との連絡】

応募者は、非公式に派遣予定先と連絡の上で応募して下さい。

【応募書類】

募集要項に記載された応募書類の他に、センターから団体にE-mailにて申請情報を送信いたしますのでPDFファイル（又はword等）をセンター藤原（fuji421@sapmed.ac.jp）に学内締切日までに送信して下さい。

【推薦者】

学長または学部長の推薦を必要とされる場合は、推薦者欄は推薦理由のみ記載しその他は空欄のままご提出下さい。

■□■ 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 ■□■

<http://www.nips.ac.jp/jusnou/>

平成23年度日米科学技術協力事業「脳研究」分野

グループ共同研究募集

【事業の概要】

研究推進拠点方式による重点的共同研究を日米両国の特定機関の研究グループが2～3年間にわたり、継続的に行う共同研究を募集する

【研究分野】

脳一般に関する以下の分野の研究

- ①細胞・分子
- ②発達・可塑性・修復
- ③行動・システム・認知
- ④疾病の神経生物学

【実施年度】

平成23年度から2～3年間

【支給経費】

研究代表者及び分担者の交通費・滞在費（各年度120万円程度を上限）

※自然科学研究機構で定める規程等による

【応募資格】

研究機関において研究に従事する者

※分担者については、学生（大学院博士後期課程のみ）も可

【学内〆切】

平成22年9月1日

【応募の際の注意事項】

予算交付が確定されていない時期での募集であることを予めご了承下さい。

【米国側代表者との連絡】

応募者は、非公式に米国側代表者と連絡の上で応募して下さい。

【応募書類】

募集要項に記載された応募書類の他に、センターから団体にE-mailにて申請情報を送信いたしますのでPDFファイル（又はword等）をセンター藤原（fuji421@sapmed.ac.jp）に学内締切日までに送信して下さい。

<http://www.nips.ac.jp/jusnou/>

平成 23 年度日米科学技術協力事業「脳研究」分野

情報交換セミナー募集

【事業の概要】

日米両国からの組織で実施する研究協力計画に関連する活動の情報交換を行うためのセミナーを募集

【研究分野】

脳一般に関する以下の分野の研究

- ①細胞・分子
- ②発達・可塑性・修復
- ③行動・システム・認知
- ④疾病の神経生物学

【セミナーの要件】

- ・実施組織：日米両国からそれぞれ 10 名程度
- ・開催年度：平成 23 年度（平成 23 年 6 月～24 年 2 月の間に開催）
- ・期間：3～5 日間程度
- ・開催地：日本あるいは米国

※実施組織以外の研究者の参加が容易な時期場所等を考慮して開催すること

【支給金額】

2,000,000 円程度を上限として支給

【支給経費】

- ・日本で開催する場合
日本人講演者の国内旅費・会議費

※バンケット代は不可

- ・米国で開催する場合

日本人講演者の交通費・滞在費

【応募資格】

研究機関において研究に従事する者

【学内〆切】

平成 22 年 9 月 1 日

【応募の際の注意事項】

- ・予算交付が確定されていない時期での募集であることを予めご了承下さい。
- ・本応募の前に、様式 3-1 に準じた企画趣意書（日本語 A4 1 枚）を団体に提出すると、米国側との調整など本申請に係る諸事相談に応じて頂けます。

【米国側代表者との連絡】

- ・応募者は、非公式に米国側代表者と連絡の上で応募して下さい。

【応募書類】

募集要項に記載された応募書類の他に、センターから団体に E-mail にて申請情報を送信いたしますので PDF ファイル（又は word 等）をセンター藤原（fuji421@sapmed.ac.jp）に学内締切日までに送信して下さい。

■□■ 独立行政法人日本学術振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi_2010_9.html#gakusin_tokutei_koku_2010_9

平成 23 年度分 特定国派遣研究者

【趣旨】

我が国の研究者が相手国の研究者を訪問し、研究、意見交換等を行うための経費を支援する事業

※派遣対象国、学術振興機関（対応機関）に指定がありますので詳細は募集要項を参照して下さい。

【種別】

長期・短期・ポスドク

※派遣国によって異なります。

【派遣時期】

原則として、平成 23 年度中（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）に出発すること

【派遣予定人数】

各対応機関 1～10 名

※国別で異なるため詳細は募集要項を参照して下さい。

【支給経費】

渡航費等

【応募資格】

我が国の研究機関に所属する常勤の研究者又は常勤として位置づけられている研究者

※ポスドク派遣者の申請資格は募集要項を参照して下さい。

【学内×切】

平成 22 年 9 月 1 日

【申請手順】

- ・日本学術振興会の電子申請システムにより申請を行います。
- ・申請には事前に日本学術振興会国際交流事業の申請者用 ID・パスワードが必要となります。未取得の方はセンター藤原（内線 2176）までご連絡下さい。
- ・取得した ID・パスワードで日本学術振興会電子申請システム (<http://www-shinsei.jstps.go.jp>) にログインし、学内締切日までに電子申請を済ませ、センター藤原までご連絡下さい。（センターで承認・確認作業を行います。）

※申請書の内容は 1 部印刷し、センターにご提出下さい。

■□■ 独立行政法人日本学術振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi_2010_9.html#gakusin_nikokukan_2010_9

平成 23 年度分 二国間交流事業 共同研究・セミナー（9 月締切分）

【趣旨】

個々の研究者交流を発展させた二国間の研究チームの持続的ネットワーク形成を目指し、我が国の大学等の優れた研究者が相手国の研究者と協力して行う共同研究・セミナーの実施に要する経費を支援する事業

※対象国、学術振興機関（対応機関）に指定がありますので詳細は募集要項を参照して下さい。

【最大採用予定件数】

各対応機関 1 件～20 件

※国別で異なるため詳細は募集要項を参照して下さい。

【支給経費】

①共同研究

外国旅費、国内旅費、研究費

②日本開催セミナー

国内旅費、開催経費

③相手国開催セミナー

外国旅費、日本国内で要する経費（国内旅費、開催経費）

【本会支給経費】

・共同研究

各年度 100～300 万円

・セミナー

各年度 120～250 万円

※国別で異なるため詳細は募集要項を参照して下さい。

【応募資格】

我が国の研究機関に所属する常勤の研究者又は常勤として位置づけられている研究者

【学内×切】

平成 22 年 9 月 1 日

【申請手順】

- ・日本学術振興会の電子申請システムにより申請を行います。
- ・申請には事前に日本学術振興会国際交流事業の申請者用 ID・パスワードが必要となります。未取得の方はセンター藤原（内線 2176）までご連絡下さい。
- ・取得した ID・パスワードで日本学術振興会電子申請システム (<http://www-shinsei.jstps.go.jp>) にログインし、学内締切日までに電子申請を済ませ、センター藤原までご連絡下さい。（センターで承認・確認作業を行います。）

※申請書の内容は 1 部印刷し、センターにご提出下さい。

【申請に際しての注意事項】

本事業の申請にあたっては、相手国側の共同研究・セミナー代表者は本会の相手国側対応機関への申請が必要となりますので（米国、オーストラリア、英国（王

立協会)との交流を除く。)募集要項「17. 国別の注意事項」に記載の対応機関の本事業担当者に手続きを確認の上、申請するようにして下さい。

■□■ 独立行政法人日本学術振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi_2010_9.html#asia_africa_2010.9

平成 23 年度分 アジア・アフリカ学術基盤形成事業

【事業の概要】

我が国の研究機関が主導的役割を果たし、アジア・アフリカ諸国の研究拠点機関との持続的な協力関係を構築し、「共同研究」「学会会合」「研究者交流」を効果的に組み合わせて実施する事業を支援する。

【対象となる研究】

アジア・アフリカ地域に特有、又は同地域で特に重要と認められる研究課題であり、かつ、我が国が重点的に研究することが有意義と認められるもの

【対象国】

我が国と国交のあるアジア・アフリカ諸国を主たる相手国とする

【採用期間】

最長 3 年間 (平成 23 年 4 月～平成 26 年 3 月)

【採択予定件数】

10 件程度

【支給額】

1 課題当たり 500 万円以内/会計年度

【応募資格】

我が国の大学等学術研究機関又はその部局 (当該機関 (部局) に所属する常勤の研究者をコーディネーターとすること)

【学内×切】

平成 22 年 9 月 27 日

【応募方法】

- ・日本学術振興会の電子申請システムにより申請を行います。
- ・申請には事前に日本学術振興会国際交流事業の申請者用 ID・パスワードが必要となります。未取得の方はセンター藤原 (内線 2176) までご連絡下さい。

・取得した ID・パスワードで日本学術振興会電子申請システム (<http://www-shinsei.jsps.go.jp>) にログインし、学内締切日までに電子申請を済ませ、センター藤原までご連絡下さい。(センターで承認・確認作業を行います。)

※申請書の内容は 1 部印刷し、ご提出下さい。

■□■ 独立行政法人日本学術振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi_2010_9.html#asia_kenkyu_2010.9

平成 23 年度分 アジア研究教育拠点事業

【事業の概要】

世界的水準の研究教育拠点の構築と次世代の中核を担う若手研究者の養成を目的とし、我が国とアジア諸国の拠点機関が、対等な協力関係に基づく双方向交流として、「共同研究」「学会会合」「研究者交流」を効果的に組み合わせて実施する事業を支援する。

【対象となる研究】

我が国において先端的かつ国際的に重要と認められる研究課題

【対象国】

我が国と国交のあるアジア諸国を主たる相手国とする

【採用期間】

最長 5 年間 (平成 23 年 4 月開始～平成 28 年 3 月)

【採択予定件数】

5 件程度

【支給額】

1 課題あたり 1,200 万円以内/会計年度

【応募資格】

我が国の大学等学術研究機関又はその部局 (当該機関 (部局) に所属する常勤の研究者をコーディネーターとすること)

【学内×切】

平成 22 年 9 月 27 日

【応募方法】

- ・日本学術振興会の電子申請システムにより申請を行います。
- ・申請には事前に日本学術振興会国際交流事業の申請者用ID・パスワードが必要となります。未取得の方はセンター藤原（内線2176）までご連絡下さい。
- ・取得したID・パスワードで日本学術振興会電子申請システム（<http://www-shinsei.jspss.go.jp>）にログインし、学内締切日までに電子申請を済ませ、センター藤原までご連絡下さい。（センターで承認・確認作業を行います。）

※申請書の内容は1部印刷し、ご提出下さい。

【その他】

申請時において、相手国側の学術振興機関等からのマッチングファンド（相手国との対等な費用負担）を得ていることが必要です。

■□■ 独立行政法人科学技術振興機構 ■□■

http://www.jst.go.jp/sicp/announce_sa2nd.html

戦略的国際科学技術協力推進事業

日本—南アフリカ研究交流「ライフサイエンス」提案募集

【事業の概要】

募集分野における研究交流を実施することにより、我が国の科学技術の将来の発展に資することを目的とする。

「ライフサイエンス」分野の中で以下の領域に重点を置き、日本と南アフリカの研究者の共同研究プロジェクトの提案を募集する。

- ①ライフサイエンスに応用可能なナノテクノロジー
- ②感染症に重点を置いた医学研究
- ③植物科学

※上記3領域の提案が優先されますが、上記以外の領域であっても優秀な提案は採択される可能性があります。

【支援期間】

3年間

【採択件数】

3課題程度

【予算】

総額15百万円（3年間）

【学内×切】

機関直接応募 平成22年9月30日午後5時

【応募について】

- ・日本と南アフリカにおいてすでに研究基盤のある研究がさらに強化され、付加的な価値が創出される共同研究であることが必要です。
- ・南アフリカ側の研究代表者が最低でも修士（博士が望ましい）の学位を持ち、政府機関・大学・研究機関等に所属している必要があります。

【応募方法】

- ・日本側研究者は府省共通研究開発管理システム（e-Rad）を通じて申請を行います。

※e-Radシステムでの登録がお済みでない研究者（本年度より札幌医科大学に就任された研究者を含む）の方は、産学地域連携センター藤原（内線2176）までご連絡下さい。

- ・センター保管用としますので、申請情報を1部印刷してご提出下さい。

●戦略的創造研究推進事業 JST-CIRM 共同研究プログラム

団体名	(独) 科学技術振興機構 (JST)
事業概要と目的	<p>iPS 細胞等の研究を加速し、臨床応用等に結びつく研究成果を得るため、日本とカリフォルニア州の研究者が共同して研究を進めることが極めて重要です。</p> <p>そのため、科学技術振興機構 (JST) は平成 21 年度に続き、平成 22 年度も幹細胞・再生医学研究の支援に特化した世界有数のファンディング機関である米国のカリフォルニア再生医療機構 (CIRM) と協力して、日本とカリフォルニア州の研究者による共同研究を支援します。</p> <p>JST は戦略的創造研究推進事業の一環として日本側の研究者の支援を行い、CIRM は Basic Biology Awards III^{※3}の一環としてカリフォルニア州側の研究者の支援を行います。両機関は独自に日本およびカリフォルニア州の研究チームを公募・選考し、採択された研究チームに研究資金を提供します。</p>
対象となる研究提案	<p>本共同研究プログラムでは、近年生み出された細胞リプログラミング技術に重点を置いて、関連するヒト多能性幹細胞の作製・制御にかかわる分子メカニズム解析等の研究を対象とします。</p> <p>ここでは、CIRMのBasic Biology Awards IIIと協調し、iPS細胞研究およびこれに関連する他の幹細胞についての、以下に示すような研究を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分化過程において幹細胞の運命選択を左右する因子の解明 (Elucidating the determinants of stem cell fate decisions during differentiation) -分化途上で特定の前駆体細胞群に見いだされる分子の同定・解析 (Molecular characterization of specific precursor

	<p>populations at intermediate stages of differentiation)</p> <ul style="list-style-type: none"> -成熟し代謝機能を備えた細胞・組織・小器官への系譜特異化の分子基盤 (Molecular basis of lineage specification towards mature adult, metabolically functional cell types, tissues and mini-organs) -細胞内外微小環境が幹細胞の運命・挙動に与える影響 (Role of the cellular and extracellular microenvironment in regulation of stem cell fate and behavior) ・ヒト多能性幹細胞の自己複製能と増殖の分子基盤 (Molecular basis of human pluripotent stem cell self-renewal and expansion) ・多能性や、幹細胞の特定の系譜への発生に関する潜在能力の分子基盤 (Molecular basis of pluripotency or the developmental potential of stem cells to specific lineages) ・細胞リプログラミングの機構 (Mechanisms of cellular reprogramming) -多分化能誘導の分子基盤 (Molecular basis for induction of multipotency or pluripotency) -分化転換誘導の分子機構 (Mechanisms of direct reprogramming to other cell types (trans-differentiation)) ・単一の細胞型において多様性が生じる機構も含めた、幹細胞およびそこから派生する細胞の発生に関わる能力や可塑性の背景となるエピゲノムあるいは他の制御機構 (Epigenetic and/or other regulatory mechanisms (e.g. retrotransposon activity) underlying the developmental
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>potential/plasticity of stem cells and their derivatives, including those mechanisms that generate diversity within an individual cell type)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹細胞の遺伝・エピゲノムあるいはゲノムから見た不安定性、およびその分化・腫瘍形成能への影響 (Genetic, epigenetic and genomic instability of stem cells, and the effects of such instability on their differentiation and tumorigenicity) ・内因的あるいは人工的な多次元微小環境が幹細胞運命や挙動に影響する分子機構 (Molecular mechanisms by which endogenous or engineered multidimensional microenvironments influence stem cell fate and behavior) ・疾患の分子基盤：in vitroでのヒト幹細胞に基づいたモデルによるヒト疾患分子機構の解明や検証 (Molecular basis of disease: elucidating/validating human disease mechanisms with in vitro, human stem cell-based models)
募集・選考の方法	<p><u>この募集に応募するためには日本側研究チームがJSTへ、カリフォルニア州側研究チームがCIRMに各々個別に申し込む必要がありますのでご注意ください。</u></p> <p>JST、CIRMの両機関とも審査は一次審査と二次審査の2回に分けて行います。</p> <p>審査を通過した提案のみ二次審査に応募することができます。二次審査では再度詳細な研究提案書を提出していただきます。二次審査においても日本側研究チームがJST、カリフォルニア州側研究チームがCIRMに各々個別に申し込む必要があります。二次審査に応募された研究提案は一次と同様、両機関で審査されます。</p>

研究費	年平均 2 千万円～ 8 千万円程度
実施期間	最長で約3年間
応募資格	<p>日本国内の研究機関に所属している研究者を対象とします。本共同研究プログラムの趣旨を十分理解し、カリフォルニア州の幹細胞研究に関わる研究者と緊密な連携の下、共同研究プロジェクトの目標達成にむけた協力体制を構築し、相互に研究を補完し合いながら研究を実施する体制をとる事が要件となります。</p> <p>なお、研究提案の応募は、研究代表者として1名につき1件のみ可能です。</p>
申請方法	<p>■ 提案書の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JST-CIRM共同研究プログラムへの提案書式をご使用ください ・ JSTへの提案内容とCIRMへの提案内容が同一となることが必須です。従って提出にあたっては、カリフォルニア側申請者との共同作業により提案内容をお纏めください。 ・ 詳細は以下をご覧ください。 http://www.jst.go.jp/kisoken/jst-cirm/ipsbosyu/youkou1008.pdf ・ 英語で記載いただく内容は、カリフォルニア側申請者が、CIRMに提出した提案書と完全に一致する内容をご記入ください。日本語部分は、その同一な内容を過不足なく記載してください。CIRMの提案書式は、Basic Biology Awards III RFA (http://www.cirm.ca.gov/RFAs)をご参照ください。 <p>■ 提出期限等</p> <p>府省共通研究開発管理システム (e-Rad) を通じて、2010年10月18日 (月) (午後5時) 迄にご提出ください。(必着)</p>

<p>※ e-RadのログインID・パスワードが必要になります。応募方法については、http://www.e-rad.go.jp/ をご参照ください。尚、アップロードできるファイル（提案書）の最大容量は3MBですので、ご注意ください。</p> <p>※上記締め切りは、府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による申請期限です。</p> <p>※ カリフォルニア側申請者のCIRMへの提出期限は10月7日（現地時間）となりますので、ご注意ください。</p>

● 戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ 第2期募集要項

団体名	(独) 科学技術振興機構 (JST)	
名称	CREST	さきがけ
特色	研究代表者が研究チームを率いて研究を推進	研究総括のもとで、研究者が個人で研究を推進
研究領域	炎症の慢性化機構の解明と制御に向けた基盤技術の創出	炎症の慢性化機構の解明と制御
研究タイプ	<p>1) I型</p> <p>2) II型</p> <p>※II型は、より大きな研究成果が出るのが期待され、同時により大きな責務を負う</p>	<p>1) 通常型</p> <p>- (3年型)</p> <p>- (5年型)</p> <p>2) 大挑戦型</p> <p>※大挑戦型は、成功した場合には、飛躍的・画期的成果が期待できる研究であって、実現の可能性の観点からは見通しが得難いハイリスク研究を積極的に採択する</p>
研究費	(I型) 1億5千万円～3億円未満	(3年型) 総額3～4千万円程度

	(II型) 3億円～5億円程度	(5年型) 総額5～10千万円程度
研究期間	5年以内	3年または5年
採択予定件数	4～10件程度	<ul style="list-style-type: none"> ・3研究領域で30件程度 ・研究期間5年の課題を当該領域の採択件数の2割程度採択 ・大挑戦型では、通常型の採択に加えて1領域当たり若干名を採択する予定
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ・自らが当該研究課題を推進する研究代表者 ・研究チームの責任者として課題全体の責務を負うことができる研究者 	<p>個人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らが申請研究課題を推進する研究者
申請方法	<p>■ 提出期限等</p> <p>府省共通研究開発管理システム (e-Rad) を通じて、 CREST 2010年10月26日 (火) (正午)迄 (必着) さきがけ 2010年10月19日 (火) (正午)迄 (必着) にご提出ください。</p> <p>※上記締め切りは、府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による申請期限です。</p> <p>※ e-RadのログインID・パスワードが必要になります。応募方法については、http://www.e-rad.go.jp/ をご参照ください。尚、アップロードできるファイル（提案書）の最大容量は3MBですので、ご注意ください。</p> <p>詳細は http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html をご参照ください</p>	

附属産学・地域連携センター通信

担当 佐藤 準(産学官連携コーディネーター)・齊藤 亜耶

発行 札幌医科大学 附属産学・地域連携センター

URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メール renkei@sapmed.ac.jp

附属産学・地域連携センター通信

担当 佐藤 準(産学官連携コーディネーター)・齊藤 亜耶

発行 札幌医科大学 附属産学・地域連携センター

URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メール renkei@sapmed.ac.jp